

Okahata

NEWS LETTER

Business updates, new ideas and more
from Okahata

2020

10



オンライン
展示会に
ガチで
向き合って

在りし日のマテリアルショー2018
(30年来の付き合いあるNikeのOBとばったり)

こんにちは、岡畑典裕です！半年記念の第6号は、発行時期を“肉の日”から、中旬にマイナーチェンジしてお届けします！

さて、今月は**“オンライン展示会にガチで向き合って…
出展イエーイの向こう側”**

9月某日、**高名な経営学の先生に**「専門商社はアナログ営業勝負しかないでしょ」的指摘を受け(ムツとし)たのですが、確かにごもつとも。ただし、対面機会の前後はデジタル改善余地がありそうだと皆が気付き始めたWithコロナ、その一番分かりやすい取組はオンライン展示会。

でも、**リアル展示会のような偶発性、学園祭的な盛り上がり**って期待できるの????そんな疑問は抱えつつ、Withコロナは“やったもん勝ち”を標榜する弊社がファーストペンギンな気概で挑んだのが、アメリカ西海岸の靴材料オンライン展示会(Digital Material Show:以下DMS)。

結果は、**フルスイングで見事に空振り**。(詳しくはインタビュー記事を！)

空振りよりも、フルスイングこそが誇らしく、その経験を糧に次に挑むは、今日から始まるケミカルマテリアルJapan2020-ONLINE-

今回のONLでは**空振りから何を学び、ケミマテにどう活かすか**、オンライン展示会にガチで向き合い、“出展してますイエーイ”で終わらない戦い方を考えます。

まずは フルスイング当事者インタビューから。

フルスイングした人：岡畑香港(OKHK)の鈴木寿
Ethan Chen

インタビューした人：岡畑典裕

Digital Material Show(DMS)とは：

北米スポーツ靴のメッカ、ポートランド(NIKEのお膝元)で、毎年2月に3日間開催される靴材料展示会、Materials Showのオンライン版。2020年はリアル版が直前に延期決定。延期理由が東アジア・コロナ感染拡大で訪米できないベンダーへの配慮だったという、皮肉。7月DMS開催も、当時のポートランドはコロナ感染者増、BLMデモなどでダウンタウン閉鎖、NIKEもほぼ完全在宅体制。今思うと、大逆風の中で始まって…

岡畑：どんな期待感と準備で臨みましたか？

鈴木：北米のお客様は、Web Meetingsやデジタルコンテンツ活用が盛んだった分、期待感は大きくて。パワポ・写真・動画も充実させ、チャットは北米に合わせて日本時間24:00～11:00で常時4名がやる気満々スタンバイでした。

岡畑：結果は？

Ethan：3日間でチャットリクエストはゼロ。DMもらったのが2件。

鈴木:公式サイトは、来場者2200名、チャットは14000件と発表してましたが、ほとんどが暇なベンダー同士のチャットで…

岡畑:アジア時間だと真夜中、ずっと起きてたの？

鈴木:業界の皆さんと色々話せてよかったですけど、最後は堂々と寝ちゃえる位、暇でした。。

岡畑:やったもん勝ちとはいえ…ご苦労様。オンライン展示会はもう懲り懲り？

鈴木:次があるなら、もっと動画を充実させて再チャレンジしたいです。

岡畑:どうして動画？

鈴木:半年間、何百回もWeb開発打ち合わせしてきましたが、いい動画がある素材はヒット率が圧倒的に高いんです。お客様も在宅勤務が多く、社内で躍動感ある会話が出来ていないので、**動画の社内展開しやすさ**は、とても便利なんだと思います。

岡畑:オンライン展示会でウケる動画ってどのような？

鈴木:ファーストインパクト。初めの数秒で、この風合い・特性いいかもって、その気にさせられる動画です。今の動画は、説明調で少しダラダラ。展示会で心を掴む動画は別途制作したいですね。

岡畑:なるほど。今までは、動画はミーティングの補足資料＝脇役扱いだったのが、オンライン展示会で

は動画が主役、動画だけ(しかもはじめの数秒で)説得力ないとダメなんですね。

意地悪な質問。パンチある動画で興味を持ってくれたとして、そのままチャットルームに入ってきてくれると思います？

鈴木:なかなかキツイですね。展示会チャットルームは、正直ハードルが高いと思います…

岡畑:興味を生み出しても、対話に繋がらないなら、オンライン展示会って意味ないんじゃないの？

Ethan: いや、オンライン展示会をきっかけに、既存の取引先からは直接コンタクトもらって、Webで開発ミーティングは結構やってました。どうしてもオンライン展示会の資料は、一般公開向けになってしまうので、別の最新素材用データベースを使って。裏・展示会、ですね。

岡畑: オンライン展示会ではやっぱり全ては出せない？

鈴木: 最先端素材は、パワポ・写真・動画では表現し切れないですし、ニュアンスはやっぱり顔見て伝えないと。

Ethan: 数年先のイノベーションを考えているお客様も同じです。こんなのやりたい、これできる？っていう感覚的な話とかダメ元な要求をぶつけ合える場は、別で必要で。結局は、裏・展示会のような、限定メンバーだけで全部出しちゃえる場、“Private show/festival where we can all go naked”を仕掛けないと。

岡畑: リアルかオンラインか関係なく、“顔が見える対話の場”に繋がられるか。その土俵まで持ち込めるか、ですね。既存のお客様とは、仕掛け次第でできそうだけど、新規は？

鈴木/Ethan: 新規はとても難しいです。問い合わせのハードルをいかに下げるか。展示会公式チャットより、もっとカジュアルな問い合わせ先、例えば、試験的に展示会期間中、1日2時間、別のcyber spaceで“Click here”的窓口を用意してみるとか、31アイスのクーポン配るとか(笑)。もう試行錯誤、なんでもやってみる感じです。

岡畑: まさに、やったもん勝ち(笑)。リアル展示会でも色々配ってるしね。ありがとうございました。

(収録:2020年10月11日)

インタビューを終えて:

岡畑典裕の学びと お願い

当たり前ですが、オンライン展示会に出展しただけで何か生まれる、なーんてはずがない。

オンライン展示会をきっかけにし、“裏・展示会”、リアル・オンライン関係なく、“顔が見える対話の場”を生み出せるかが、オンライン展示会成功の鍵。

公式展示できないけど、面白い商材はたくさんあって、その辺の裏話含めて、全部語れる、裏・展示会。そもそもリアル展示会でも、**休憩室でコーヒーと一緒にしながら、全然違う話しているあの感じ**をバーチャルでどう作れるか、なんだろうと思います。

ケミマテは今日から開催、31クーポンもらいに(配ってません・笑)、ぜひ来場お願いします。

そして、**岡畑興産の裏・工作**にもぜひお付き合いください！

■ケミカルマテリアルJapan —2020—に出展します!

(萩田良一/山田雄也)

積極的にオンライン発信を続けてきた当社のセカンドペンギン、化学品事業がケミカルマテリアルに出展します!

今回は、「アジア発天然&環境系の香粧品」、生分解性マイクロカプセルや、「染料からエンブラへ進化する機能材」ではPEKKなど。他にも得意なアジア&グローバル・ソーシングを活かした商品をセレクト。選に漏れた商品でも、“隠し球”的にご紹介したいアイテム、例えば、IPMPやカルボマーは、「香粧品」×「インド・ソーシング」切り口のコロナ禍で需要が広がる殺菌剤、増粘剤。他にも「機能材」×「インド・ソーシング」でもホットな提案が盛りだくさん。

「香粧品」×「インド」、「機能材」×「インド」なコンセプトにピンときたら是非お声かけを!裏・展示会と称して、隠し球ご紹介、展示商品だけでは語りきれない、岡畑興産化学品事業のストーリーをお話出来ればと思います。

ご来場された皆様と一緒に、黎明期のオンライン展示会を盛り上げ、化学業界全体に多くの新しい出会い(気づき)が生まれることを期待しております!

ケミカルマテリアルJapan 2020-ONLINE-
に出展します



ぜひお立ち寄り下さい！

来場登録サイト

<https://enq.itmedia.co.jp/on24/form/2559295>

弊社サイトURL

<https://vshow.on24.com/vshow/cmj2020/exhibits/okahata>

■ ケミマテに合わせて、 人財サイトも更新！

<https://okahata.wixsite.com/oksite>

■ Special Thanks

今回のONL特集を書くにあたり、T社のN社長には
大きな気付きと後押しをいただきました。

この場を借りて、お礼申し上げます！

■ 編集後記

RBG 最強の85才

(社内報Gazette2020年10月号第2便より引用)

前号に引き続き今号にも皆さんが「それぞれのコロナ生活」を披露してくれました。海外でも日本でも気持ちは一緒です。注意しながら工夫いっぱい日常です。

日本の最高裁判事の名前を挙げろ、と言われてすぐに答えられる人はほとんどいないと思いますが、米連邦最高裁判事で最高齢のルース・ベーダー・ギンズバーグ氏が9月18日、87歳で死去しました。大統領選のキャンペーンの真っただ中でもあり、その後任に関心が持たれ日本でも報道されていましたが、彼女の人となりについてはあまり話題にはなっていなかったようです。

ギンズバーグ氏はアメリカ最高裁で2人目の女性判事として、性差別問題を巡る数々の裁判を手掛けたことで知られていますが、ドキュメンタリー映画「RBG 最強の85才」(2018年)を観て以来、気になる女性の一人でした。人気ラッパー「ノトーリアス(悪名高い)BIG」をもじった「ノトーリアスRBG」という愛称で親しまれ、ポップカルチャーのアイコンともなり、若い世代からも絶大な人気と支持を得ていました。オペラ好きで有名で、METの『連隊の娘』にゲスト出演した時の衣装には「黒柳徹子みたいだ～」と思わず笑ってしまいました。

男子限定の歴史を持つバージニア州軍人養成大学の入学規定を違憲とする判決やLGBT(性的少数者)の権利、人工妊娠中絶を支持する判断を次々と下し、リベラル派の旗手として活躍、世の中の偏見と差別を浮き彫りにし、社会を変えていった彼女の数々の言葉や行動は、女性だけでなく本来持っているはずの権利を不当に奪われた人々に大きな勇気を与えてくれました。気負うこともなく、シャイで物静かな語り口の中に確固たる意志が見える。日本人初の国連難民高等弁務官・緒方貞子さんにも共通するものがあつたことを思い出しました。

「男性のみなさん、私たちが踏み続けているその足をどけて」

「真の変化は一步ずつもたらされるもの」「同僚の男性判事は性差別が存在しているとは思っていなかった。幼稚園の先生になったつもりで説き続けました」——ギンズバーグ氏の数々の言葉が胸に響きます。

折も折、トランプ大統領が新型コロナウイルスに感染したというニュースが世界中を駆け巡りました。9月26日、トランプ大統領がギンズバーグ氏の代わりに指名した新たな最高裁判事エイミー・コニー・バレット氏のためにホワイトハウスの庭園で開かれた「マスクなし、密」の式典がウィルスを拡散させたのではないかとされています。

天国に向かって、「RBG！何かした？」と言いたくなるような皮肉な出来事でした。(kiki)

岡畑興産株式会社 ニュースレター／毎月発行

2020年10月19日号

発行：岡畑 典裕

岡畑興産株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6

TEL：06-6251-8252 FAX：06-6251-8278

Okahata
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER
2020.10.19 / Issue 006

© 2020 オカハタとアイデアと